

# よこすかボランティアニュース

2018

2

## ボランティア「3つのあい」であいふれあい たすけあい



障害者基本法では12月3日から、12月9日までを「障害者週間」と定めています。

横須賀市でも障害者福祉への関心や理解を深め、誰もが社会・経済・文化・その他あらゆる分野の活動に参加することができる社会をめざすことを目的に、さまざまなイベントが実施されました。

シヨッパースプラザ横須賀2階センターモールでは、障害者福祉への理解を深める活動紹介パネル展や相談窓口コーナー、地域作業所の手作りの品の販売や、県立岩戸養護学校の作品展示が行われました。

また12月3日(日)には、障害者団体による踊りや演奏などの活動発表会が、同所特設ステージで行われました。

9団体による和太鼓、アフリカ太鼓、ヘルマンハープ、軽音楽の演奏やソーラン踊り、フラダンス、エアロビクスなどの踊りを披露され、満員の会場から大きな拍手を頂いていました。

主催は「横須賀市ボランティア連絡協議会」で、すべての人たちが互いに理解しあい支えあうとともに生きる福祉社会「つくりをめざして活動を行っております。」

(H・Y)

第185号(平成30年2月発行)

# 私たちがVニュースを作っています！



ボランティアニュースは、現在4名の編集委員と1名の事務担当で作成しています。ボランティアニュースがどんな人達の手によって作られているかお伝えするべく、事務担当・齊藤が編集委員の芦澤氏、山田氏、大貫氏にインタビューを行いました。（もう1名の編集委員・木下氏は急用によりご欠席です。）

齊藤：それではまず、編集委員を始めたきっかけを教えてください。

山田：平成23年3月に発生した東日本大震災の支援として行われていたボランティアバスに何度か参加する中で、ボランティアセンターの職員と顔見知りになり、何年前かに編集委員に誘われました。断る理由もなかったため、引き受けてしまいました。

芦澤：7〜8年前に横須賀に引っ越してきて、近くに友達もおらずどうしたものかと思っている時に、ボランティアニュースを読み、編集委員になれば人と話ができるかなと思い参加しました。ボランティアがしたくて参加した訳ではないので、他の方に比べると動機が不純ですね。（笑）

大貫：何かボランティアをした

いと思い、ボランティアセンターに相談にきました。その時にボランティアセンター職員に編集委員に誘われ参加しました。当初は楽しくやりましようということですが、雑談も交えながら行っていたんですが、最近は時間びったりで終わることも多く、少しさみしいですね。

齊藤：すみません、気をつけます…

大貫：はい、お願いします。（笑）

齊藤：編集委員に参加してみたいかがでしたか？感想等あればお願いします。

山田：地域のボランティアグループを取材した中で、様々な活動にふれることができました。また、取材先に失礼のないよう意識する中で、言葉遣いも勉強することができました。

大貫：雑談の中で横須賀市を取り巻く福祉の状況や、その他にも色々と有用な話を聞くことができました。情報交換の場として、とてもありがたかったです。

芦澤：（大貫氏を見ながら）お友達ができました。（一同笑）

齊藤：最後の質問になりますが、今後ボランティアに限らずやっ

みたいことや目標はありますか？

芦澤：これまで書いていた自分の史が書きあがりしました。3歳年下の従姉妹に見せたところ、過去の記憶が蘇ってきたようで、次は祖母を題材にした小説を書いてみてはどうかと勧められています。ピアノも続けていきたいです。

山田：ここではまだ発表できないのですが、地域の人達や他のボランティアグループと色々な計画を立てています。新しい取り組みなのでこれを形にしていきたいです。

大貫：最近は災害時にどう対応するかを勉強したいと思い、「救命講習会」や「災害ボランティアコーディネーター養成講座」などを受けてみる予定です。他にもそういった関連があれば参加してみたいです。

齊藤：お忙しい中、インタビューにご協力いただきありがとうございます。来年度もよろしく願いいたします！

※芦澤氏は今号をもって編集委員を卒業になります。8年間ありがとうございました！

## シニアボラのすすめ 24

高齢者や障害者の話し相手や、抹茶振る舞い等を行っているボランティアグループ「なつめ」のH・U氏にご寄稿いただきました。

私は定年退職をしてから3ヶ月間は時間にも縛られず、のんびりと過ごしてテレビの子守をするばかりで、これではいけないと思い60歳の手習いで、着物学院に通い、若い方たちに混ざって着付の勉強をして資格をとりました。

この時に出会ったお友達に盆略手前のお誘いを受け、ボランティアに登録しました。そして日本の文化である着物を着用、盆略手前でお抹茶と会話をしながら楽しんでいただくことで老人施設でお年寄りといふれあいができました。「自分も若い頃は着物を着たのよ」と袂にふれながら「今度は何時来るの？」と云われ、皆さんがこんなに楽しみにしてくれているのだと思うと元氣と希望をいただき帰って来れるのです。

また、言語リハビリのお手伝いで普段は話もしない方が、ピアノに合わせて童謡や唱歌を声を出して歌う姿に感動しました。これからも皆様との出会いを大切に、19年にもなるメンバーの方たちと楽しく明るい、ふれあいを続けられたらと思います。ボランティアは私にとって生活のうえで生きがいになっております。何かできることがないかと思われる方は、地域のボランティアセンターに出かけてみてはいかがでしょうか。

## ボランティア連絡協議会から

～新たな出会いを求めて～

『ボラ連 キックオフフェスタ』開催迫る！

「ボラ連」一年の活動の総決算。

市内で活動しているボランティア団体が勢揃い！！



市内で活動しているボランティア団体の歌、音楽、踊り等のステージ紹介。けん玉、点字体験等のミニコーナーでの紹介。展示物による紹介。地域作業所の製作による物品販売コーナー、飲食コーナー等、楽しい催しと交流の場を用意しております。

どんなボランティア団体があるのか覗いていただけたら嬉しいです。

みなさんお誘いあわせの上、会場にお出かけください。お待ちいたしております。

日時：3月3日（土）

10時10分～16時00分（予定）

場所：総合福祉会館 5階全フロア

※入場無料

主催：横須賀市ボランティア連絡協議会

後援：横須賀市・横須賀市社会福祉協議会

## 障害者週間キャンペーン YOKOSUKA

12月1日（金）～7日（木）1週間を通して、障害（者）を知る良い機会となりました。

12月3日（日）ショッパーズプラザ2階で行いました障害者によるステージ発表は、多くの方々が会場にお越しくださり、ご声援をいただきました。

おめでとうございます！

横須賀市社協会長表彰

石綿 敏男 明珍 スイ

荻野 益代 渡辺 孝子

小峯 洋子 ナ・メア・フラ・オ・キリノエ

寺元 孝子

市民表彰

おもちゃドック「よこすか」

手話ダンスグループ「ゆらぎ」

アミーゴス

## 登録ボランティア団体紹介 18

# 「横須賀手話指導勉強会」

私達は、市内の小・中・高校の総合学習で「視覚障害の理解」と「手話の普及」の為に指導をしています。現在の「手話指導勉強会（指導勉）」という名称になる前は、「手話講師研究会（講師研）」という名称でした。

昭和50年頃に手話の講師を担当する機会が生まれ、担当した手話通訳者の有志で「講師研」ができました。

その後、平成12年市の事業の「派遣手話通訳者連絡会」が正式にスタートしました。これを期に、主に学校や各種団体への手話指導を担当する会として「指導勉」と名称を変更して現在に至っています。活動は単独ではなく、横須賀市



聴覚障害者協会（ろう協）と共に学校に向き指導しています。会員18名、定例会は年3～4回、ボランティアスクールの活動報告、また学校の現状などの情報交換、ろう協との学習会などもしています。

ボランティアスクールでは「聞こえないってどんなこと？」「聞こえなくて不便なことって何だろう？」「と児童・生徒と一緒に考え、当事者の経験談、聞こえない人とのコミュニケーション方法などゲームを交え、楽しく交流しながら指導しています。

聞こえないということは、体験することができない障害のため、「本当に聞こえないの？」「どうして聞こえないの？」と子どもたちの素朴な疑問に答え、聞こえない人に会った時に使える挨拶の手話を、みんなで手を動かして練習します。授業の終わりには「ありがとうございます。ありがとうございました」と手話で挨拶してくれると、ろう講師も私達も

嬉しくなります。子どもたちが将来社会に出た時に聞こえない人と出会っても、「前に聞こえない人のことを学んだことがあるなあ」と思い出してくれたら：今では地区社協、県立保健福祉大学の手話サークルとも交流しています。

横須賀市では、平成28年1月1日「情報取得及びコミュニケーションに関する条例」を施行しました。その中に「手話は言語」と書かれています。私達は聞こえない方々の言葉を広めるため、そして、聞こえない人達がどこに行っても手話でコミュニケーションができる社会を目指し、ろう協と手を携え活動しています。



# ボランティアセンターからのお知らせ



申し込み・問い合わせはボランティアセンターへ

## 開催のお知らせ

ドキュメンタリー映画「ある精肉店のはなし」と額縁あや監督のお話

開催日時：平成30年3月4日(日)

13時30分～(13時開場)

開催場所：大津コミュニティセンター  
内容：映画「ある精肉店のはなし」

上映(108分)

額縁あや監督の講演(50分)

「命を食べて命を養っていく人間の営みの一断面や、そしてそれを生業とする精肉店を通して心温まる家族愛に気付かせてくれる」ドキュメンタリー映画。上映後には監督に、この映画製作のきっかけやねらい、苦労話やエピソードなどを伺います。

対象：一般市民2000人(先着順)

参加費：600円

主催・問い合わせ：16ミリ試写室

電話：090-29901-0862

ファックス：046-849-194

2(松漣)



## 来年度の予定

布おもちゃ子育てサロン  
ポケットひろば

日：各月の第2金曜日(8月)

1月はお休み

時間：10時～12時

場所：総合福祉会館5階教養活動室(和室)

※場所は変更になる場合がありますので、当日1階の掲示板で確認ください。

対象：0歳～6歳(未就学児)の子育て中の親子

### おもちゃの病院

日：各月の第1土曜日(5月)

1月は第2土曜日

時間：10時～12時

場所：総合福祉会館4階第1活動室

※6月は第1日曜日の3日にふれあいフェスティバル内での開催となります。

時間：13時～15時

場所：総合福祉会館6階体育室

※修理代は無料ですが、部品交換の場合は実費負担になります。

※電池で動くおもちゃを持参する場合は、新しい電池をお持ちください。

## 貸出棚前期受付

ボランティアセンター第4活動室の前期申し込みを受け付けます。

貸出期間：4月1日～9月30日

受付期間：3月1日～3月7日

※応募要項は窓口で配布します。  
※予定数を超えた場合は抽選になります。

## 「ふれあいフェスティバル」ボランティア募集

日：6月3日(日)

時間：9時～16時

場所：総合福祉会館

内容：会場案内、エレベーター内の誘導、クイズラリーの景品配布、写真撮影、館内美化、着ぐるみ、入場者数のカウント

申込み：氏名、年齢、住所、電話番号、希望活動をご連絡ください。

※申込み締切りは5月9日(水)



(株)東芝社会貢献 様  
ニコン横須賀製作所 様

今年もカレンダーの寄付をいただきました。ボランティアセンター窓口に配布させていただきました。

## 編集後記

8年ほど前に、横須賀のこの小さな古家へ引っ越してきた。居間にピアノが置いてあった。子どもの頃に習った曲を数年、弾いていたが、そのうちにだんだん弾かなくなってしまった。

先日、久しぶりに関西の仕事仲間だったK子から電話があった。「もうすぐ古希やから、建築設計事務所を店じまいし、しばらくは年金と大学の非常勤講師で食っていくつもり」「S子がアルツハイマー型認知症になったんだよ。臨床心理士として、3市の介護認定審査委員もしていて、よう動き回っていたから、なかなか周りも気が付かないうちに、かなり進んでしまっただね」「M子は軽い脳梗塞になってから、たまに会議をすっぽかすしなあ」「私たち皆、一人暮らしだから、気をつけなあかんねえ」とひとしきり、そんな話をして電話を切った。

彼女たちよりだいぶん上の私が認知症予防のためにできることは？

そっだー私には幸運なことにピアノがある。早速、週2回レッスンに通い、毎日練習をしている。

認知症予防になるのだろうか、ならなくてもよい。

老いの手習いは、とても楽しい。

(M・A)